

栄町・李白のレポート 1997年12月

千葉でのオフ会の際に絶対の安全パイとして栄町の最高級店の李白に出撃してきましたので遅まきながらレポートします。最高級店というより、栄町では高級店といえるのは李白ぐらいなのですが 総額6万ですてきなお姫様ばかりとの情報に期待でいっぱい。どんなかわい
い姫様と会えるのかな？

ご案内

詳しくはマップを見ていただくとして、オフ会の集合場所のカラオケBOXより 栄町のソープ街へ進み、ハミングロードへ。ハミングロードの一番はじこの右手に立派な建物が・・・ お店の駐車場を通りすぎてお店へ入店。

受付

お店に入ると吹き抜けになっていおり、なんかすでに豪華な雰囲気。受付で予約であることを告げるとボーイさんが丁寧な対応で2階の待合室にエレベータでのご案内。2階までエレベータで上がると吹き抜けの受付の上に渡り廊下があり、それをわたって待合室へ。(2階は待合室だけみたい。贅沢なこと) 特に指名もないので待合室でお茶を飲んで10分ほど待っていると、さきほどのボーイさんがご用意ができましたとのこと。さて、どんなお姫様かな・・・

ご対面

ボーイさんの案内で先ほどの渡り廊下を逆に戻ると丸いソファの上で姫様がお座りして待っております。待合室に来るときはこれはなんだろうと 思っていたのですが、なかなか凝った演出ですね。姫様は小柄・華奢な感じで22~23歳かな?小さな顔にお目目がぱっちり でなかなか美人(というよりかわいいなあ)最近、おじさん傾向が強くなってきたのか、昔は美人だなーと思ったタイプがかわいく見えてしょうがありません。姫と腕を組んで、エレベータで3階のお部屋へ。

お部屋は広い

お部屋はどのくらいあるのかな?と思うくらい広いです。千葉はもともとお部屋は広いのですが、ここは特に広いようです。姫と2人きりだとなんか寂しいくらい?(そんなわけないよ)と、お部屋は全体に中国風のお部屋でとても綺麗です。多少、いたんでいるところもあるようですがほとんど気になりません。

イスから即即

まずはベットの横のイスに座っていると姫様がにっこりして、私の前でひざまずき服を一枚ずつ脱がせてくれます。濡れテッシュで愚息をふきふきした後、丁寧な尺八サービス。わたしも姫のチャイナドレスをそろそろと脱がせると細身の体に形のよいBカップくらいの胸が・・・。もーがまんできん!! ということで、姫をかかえてベットへ直行です。(ほとんど狼状態!!) 姫の着ているものを(といっても1枚だけか)を取り、すけべまるだしで攻めまくりです。なんか今日は燃えているなあ。いっけんおとなしそうな姫ですが、あちこち愛撫している間にあそこがじっとりしてきてはやく来てとの催促。はいはい、それでは後ろからパンパンパーン。前からずんずんずこーん。あーもうだめだよんと言うと姫も一緒にいこーでフィニッシュ!! ちょっと飛ばしすぎ。

やっとお風呂

ちょっとベットで抱き合っていたら汗が少し冷えて寒いから、一緒にお風呂へ。(なんか恋

人気分です。) Hイスで体を洗ってもらい再度、お風呂へざっぶん。 あらためてお部屋を見るとやはり広いね。湯船のほうだけでも1部屋分はあるかも。千葉スタイルですから蛇口もサウナもみんな3つあります。いつものことながらなんか間抜けですね。しょうがないか。

マットは得意じゃないの

李白は千葉の最高級店ですからマットサービスも期待していたのですが、姫はお店にはいつて2ヶ月くらいの上、風俗はこのお店が初めてらしく まだまだへたくそなのとのこと。結果はそれほどへたではなく、一通りこなせるようです。まあ、テクニシャンとはいえませんが。

なめなめもかわいいお口でつーとあちこちを這いまくるようでぞくぞくして気持ちいいし、合格点です。姫のサービスに愚息がふたたびぴーんとなったところで今度は姫がうえになって合体。下から見上げると華奢な体を一生懸命使ってかわいい吐息を出している姫になんかぐっと来て、あーもうだめ。(今日はなんか早いぞ、かっこわる)

休憩です

お風呂で姫にローションを落としてもらい、体をふきふきしてもらいベットへごろん。(この瞬間がけっこう好きなのです) コーラを飲みながら、いろいろお話をしていると元エステシャンだそう でマッサージは得意らしいので少し体を揉んでもらったところ肩のまわりと左足の付け根のところ凝っているわねということで入念にマッサージしてもらいました。もちろんいい気持ちで寝ていただけではなく、スケベですので姫様のお尻や胸をつんつんして楽しませてもらいました。そんなことしている間になんかいい雰囲気になってきたので3回戦へと。(このパターン最近増えてます)

燃え尽きました

今日はなんか燃えているのか、愚息は元気満々ですので姫のサービスは不要なのですが、姫の「元気ね」の言葉にさらに勇気づけられさらにぴーん。まずは69で互いに責め合い、姫がこらえきれなくなったらバックから指と舌で姫の感じやすい部分をじっくり・・・あそこがじっとりとしてきたのを見計らい再び後ろから突撃。華奢で体重が軽い上に体が柔らかいのでいろいろと体位を変えていくと姫は前から突いてとりクエスト。それでは正常位から足を抱えて上から突き刺すようにすると姫が昇天。さすがに3回戦ですのでわたしも長持ちで、その後もぐいぐいとがんばります。最後は姫と抱き合いながら汗だくのフィニッシュ。いやー疲れた、燃え尽きました。

おまけ

この後、オフ会の2次会で終始、ご機嫌であったことはいうまでもありません。当日地雷を踏まれたXX様・YY様、申し訳ございません。次回の千葉オフ会ではあやしいところへフリーでいこうかな?なんて考えていません。(次回も李白にいてしまいそう)